



ドクター・ワッシー

# 診察室 ざくばらん

## 頭の精密検査 転ばぬ先の杖

めまいと脳卒中

終わってしまったことは、どうにもならない。分かっているが、後でいろいろ知っては、後悔し続ける人もいる。他人事とわらえようか。

52歳のBさん。ある朝、起き上がったら、いきなり目が回って吐き気がした。すぐにかかりつけの先生に診てもらい、点滴を受けた。目まいは4、5日で治まった。が、血圧が高くて、コレステロールも多い。服薬を勧められたが、ほっておいた。その半年後、急に左腕に力が入らなくなった。脳梗塞(脳卒中の一種)だった。

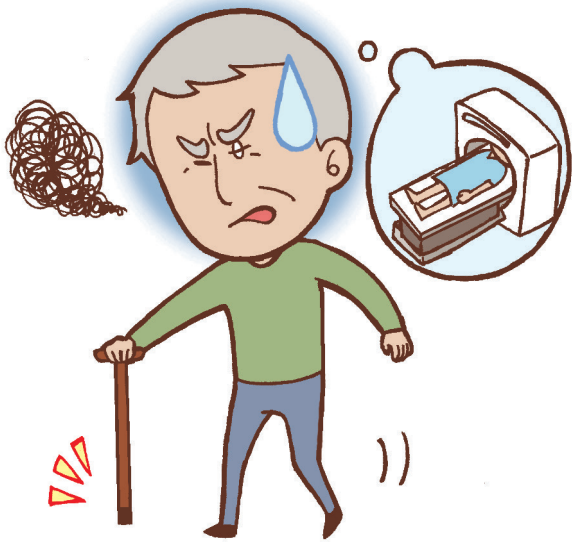
今は麻痺もなく、日常生活に支障はない。ところが、Bさん。つい、愚痴が出る。で、前医の悪口を言っ

てしまうのだ。さらには、「ネットで見た」、「ネットに」と繰り返す。

目まいの患者は、脳卒中を起こしやすいとある。半年前の目まいは、脳卒中の前兆だったのだ。ならば予防できたはずだ、と言いつ張るのである。

確かに、目まいの患者さんを集めた統計がある。男性の高齢者で、高血圧症などの脳卒中の危険因子を持っている人。MRI(磁気共鳴画像装置)に異常のある人では、脳卒中を起こす危険性が3倍高いという。だが、目まいの有無に関わらず、もともと危険因子を持っていれば脳卒中を起こしやすいのは当たり前のことだ。だいたい、Bさんの脳梗塞は、目まいとは関係のない場所にてきている。目まいが脳梗塞の前兆だったとは考えられないのだ。

そんなことより、高血圧に高脂血症のあるBさんが、なぜ真面目に治療を受けなかったのだろうか。健康管理は自己責任だ。というのに、悪いのは全部、医者せいになる。ワッシーだって、次に悪く言われる順番か。と、この頃の医者はタイヘンである。目まいの患者さんには、頭の精密検査も勧めておいたほうがよいのかも。転ばぬ先の杖だ。



イラスト・野畑桃花

(石黒修三||いしぐろクリニック  
・脳神経外科専門医、金沢市在住、  
射水市出身)